

22

伊勢型紙を切る

1月20日～2月3日 火曜日

託児あり

9:30～12:30 (開始時間が通常講座と異なります)

講師 切り絵師 ^{しぶし} 渋紙 ^{きちょう} 切彫

伝統ある伊勢型紙を作ってみませんか。

伊勢型紙は、三重県鈴鹿市で生産されている伝統的工芸品で、着物の生地に柄や文様を染めるために使用される型紙です。和紙を加工した紙（型地紙）に彫刻刀で文様や図柄を彫り抜いて作られ、千年以上の歴史を誇っています。

専用のカッターナイフを使用して、伊勢型紙を切っていきます。いくつかの図案の中から好きなものを選んでお作りいただけます。

※欠席した場合、教材の状態でのお渡しとなります。

回	月/日	講座内容 (進行状況により変更になることがあります)
1	1/20	カッターナイフの練習 簡単な伊勢型紙を切る
2		
3	1/27	干支(午 ^{うま})の伊勢型紙を切る
4		
5	2/3	
6		

◆持ち物

筆記用具、拡大鏡・メガネなど(必要な人)

※専用のカッターナイフは貸し出します。

定員 5人

費用 4,740円
【内訳】受講料3,900円、教材費840円

会場 サンライズ3階 講座室1



※生涯学習推進課窓口(サンライズ2階)にて、講師作品
見本を展示しています。

講師作品見本

講師プロフィール

切り絵師

渋紙 切彫（しぶし きちょう）

2025年6月で伊勢型紙と出会って20年。
伊勢型紙は、どんなに難しい作品でも日々
少しずつ続けていけば必ずその努力が認め
られる作品に仕上がる、というところが魅力
です。



みよし市文化協会アートクラフト部会に所属。
石川家住宅で「伊勢型紙で切り絵を作ろう」講座を担当。
名古屋市西区生涯学習センターでの講師経験を持つ。

